

Kumenan Press



久米南町立久米南中学校 校長室便り

No.12 2019.7.4

命の尊厳を考える

平和集会:6月27日(木)

生徒会執行部と修学旅行実行委員会のメンバーが準備・運営・司会を担当し、緊張感のある主体的な学びの場となった本年度の平和集会。修学旅行での学びを真剣に伝えた3年生からのメッセージや、岡山空襲の現実を知る学習を通して、生徒たちは生命の尊厳を改めて考え、「何ができるのか」「何をすべきか」と自身自身に問いかけたようです。感想の一部を紹介します。



この平和集会でしたことは二つあります。一つ目は、修学旅行で学んだこと、自分が長崎に行って何を学んだのか、どういった話を聞いてきたのかを思い出し、改めて平和と命の大切さを実感することができました。あのすごい発表だったら、長崎に実際に行っていない1・2年生にも伝わるものがあったと思います。平和宣言も成功して良かったです。

二つ目は岡山空襲についてです。日本では、たくさんの地域で空襲が行われ、どれも大きな被害を出しました。やはり戦争は、誰も得しない悲しいものだとすることを改めて実感し、深く考えることができました。こういった機会を大切にしていきたいと思いました。(3年生)

今の写真と戦争のすぐ後の写真を比べてみると、今はとても平和になったなと感じました。焼後の写真を見ると、建物は周りになくて、何も無い状態だったのでびっくりしました。溶けた花瓶やお皿やお金などを見て、どのくらい熱かったのかがわかったし、その中で死んだ人とかもいて、想像できませんでした。このようなことがもう二度と起こらないように、今私ができることをやっていかないといけないと強く感じました。来年は修学旅行に行くので、そこでたくさん学んできたいです。戦争を経験した人も少なくなっていくので、忘れないようにしたいです。一日一日を大切に過ごしていきたいです。(2年生)



平和集会で、岡山での空襲の悲しさや命の尊さを学びました。岡山で1737人以上の人が亡くなり、さらに多くの人が犠牲になったことを知り、今私たちが平和に暮らしていることに感謝したいと思いました。

多くの都市が焼野原になってしまったことや、たくさんの方が亡くなってしまったことの悲しみを、次の世代へつなげていこうと強く思いました。

今後、6月29日には黙とうをしたり、今日習ったことを思い出して、命の尊さや平和についてしっかり考えようと思いました。(1年生)